



熊本市 感染症発生動向調査 速報

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は例年これから冬にかけても流行がみられます。他にも、インフルエンザや感染性胃腸炎、咽頭結膜熱も流行してくると思われます。手洗い、うがい、マスク着用など、感染予防に努めましよう。

●A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

発熱・のどの痛み・イチゴのような舌(写真参照)が主な症状です。早めに治療を受けましよう。

◆どんな病気？

球型の、赤血球を壊す(溶血)毒素をもつ細菌による感染症のひとつで、主に学童期に多く、3歳以下の乳幼児や大人には比較的少ない病気です。

- ・症状………突然の発熱とだるさ、のどの痛みで発症し、イチゴのような舌が特徴です。嘔吐を伴うこともあります。細菌の毒素により「猩紅熱」に進行すると、点状紅斑や日焼け様の皮疹が全身に広がります。合併症には、リウマチ熱や糸球体腎炎などがあります。
- ・潜伏期間…2～5日
- ・感染経路…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことによる飛沫感染、細菌が付いた手を介する接触感染です。主にヒトとヒトとの接触で感染しやすく、家庭や学校での感染も多いです。兄弟間の感染率は25%とも言われます。
- ・流行期……冬季、および春～初夏に2つの流行ピークがあります。



国立感染症研究所感染症情報センター
「感染症の話」より抜粋

◆かかったらどうすればいいの？

- ・抗菌剤による治療を行います。症状が改善しても、お薬は決められた期間きちんと飲みましよう。
- ・のどの痛みがひどい場合は、食事は柔らかく薄味にするなど工夫ましよう。水分補給を心がけましよう。

◆予防法は？

- ・症状のある人との密接な接触を避けることがとても大切です。手洗い、うがいもしっかりおこないましよう。

期 間		平成29年 42週		平成29年 43週	
		10/16～10/22		10/23～10/29(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		1	0.04	1	0.04
RSウイルス感染症		27	1.69	31	1.94
咽頭結膜熱(プール熱)		10	0.63	16	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		17	1.06	14	0.88
感染性胃腸炎		45	2.81	46	2.88
水痘(みずぼうそう)		4	0.25	0	0.00
手足口病		16	1.00	28	1.75
伝染性紅斑(りんご病)		2	0.13	0	0.00
突発性発しん		3	0.19	7	0.44
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		2	0.13	10	0.63
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		5	0.31	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		9	1.80	8	1.60
細菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00